

## IX 特色ある公民館活動

### 留学生がつなぐ大学と市民センター

北九州市立守恒市民センター 館長 中村 真理子

#### 地域の概要

小倉南区の西部に位置する守恒は、今年でまちが出来て37年目になる。モノレールや西鉄バス等の交通網が整備され銀行の支店も3行が揃い、大型ショッピングセンターもある都市型の便利なまちである。人口約11,000人、世帯数約4,000世帯、高齢化率17.3%、自治会加入率68.7%、守恒小学校児童数は市内最多で984名(2月6日現在)である。



付きのパトロール車導入、17年から情報メール配信システム「もりつネット」運用開始。22年度からホームページ開設、同時期にマスコットキャラクター「もねっとくん」誕生。守恒市民センターでは55のクラブ、10の自主サークル、様々な講座や地域活動が行われ、22年度実績で68,491人の方々にご利用頂いた。

#### 事業に至る経緯

北九州市立大学と守恒市民センターは路線バスで4停留所の距離だが、今まで特別な交流はなかった。北九大の国際教育交流センターは、留学生の快適な学びと暮らしをサポートするセクションだが、その山崎勇治特任教授から22年末に交流の申し出を頂いた。北九大北方キャンパスには約130名の留学生が学んでいて、その8割は守恒界限で生活しているとのこと。「異国に来て、住んでいた場所にいい思い出があれば、きっとその留学生は、日本という国自体を好きになります。」という先生の言葉に共感した。一方守恒という地域を改めて考えると、神社や河川は校区内にはない。便利な新興住宅地である反面、歴史や自然といったカテゴリーでの地域色は出にくい。「留学生の暮らすまち」「地域に大学があるまち」という新たな守恒らしさを大切に、事業を進めることにした。

#### 2つの事業

今年度は2つの講座を実施した。

##### ① 「留学生と食 ing」(全3回)

「留学生と食 ing」は市民センターからの提案で、25名定員の調理室で一緒に料理をつくり、留学生に10分程度パワーポイントと日本語で母国を紹介してもらいお国自慢の料理を交流しながら食べるという内容だった。どの回も前日の夜8時、

9時まで、それぞれトルコ料理、水餃子、チヂミとトッポギの試作とミニ宴会となった。多くの留学生は日本語検定1級を取得していて、日本語で書かれた自作のレシピやレジュメ、パワーポイントは本当に素晴らしい内容だった。韓国の回に男子

留学生と食 ing 参加費1,500円(500円×3回)			
回数	日程	内容	講師
1回目	5/21(土)	イギリス人から学ぶトルコ料理	イギリス人留学生
2回目	6/18(土)	本場中国のギョーザって?	中国人留学生
3回目	7/16(土)	韓国の文化とチヂミとチャプチェ	韓国人留学生

学生が手際よく料理をしていたのは、徴兵制度があり、学生たちが入隊経験者だったというお国の事情も知る機会となった。参加者は60代以上が中心で、若く可愛い留学生との交流をととても喜んでいて。留学生の学びの姿勢はととても好感のもてるものだったし、居ながらにしてトルコの風習、大連外国語学院や仁川の観光について学べたのも嬉しい成果だった。また、大連外国語学院の卒業生で国際結婚して守恒に在住されている方が講座の運営をサポートして下さったのも有難かった。



初回の紹介記事(西日本新聞)



前夜の練習で息もピッタリ!



仁川について語る韓国の学生

## ② ～留学生と学ぶ日本事情～日本再発見(全12回)

この講座は大学からの提案で、日頃学生に対して行っている「日本事情」の授業を市民向きにアレンジして、北九大としては初めての「地域の中に入って大学が行う出前講座」という位置づけでやってみたいとのことだった。初回には、近藤倫明学長も来館。毎回北九大の先生方を中心とした方々がボランティアで講師を務めて下さり、全体としてどこかに海外という目線を携えた講座になった。関門に見るイギリス、英米文学への造詣、比較文学とジェンダー、ハーンの数奇な運命、TPP、オーストラリアと寿司文化、外国人の日本での暮らし・・・テーマを羅列しただけでも本当におもしろく参加した方々からは是非次年度も開講してほしいという要望を多数頂いた。



日本再発見の講座案内ちらし

## 成果と展望

2つの講座実施の成果として、市民にとって大学が身近な場所になったこと、意見を発表することや短時間で感想をまとめることに受講生が慣れてきたこと、新たな顔ぶれが市民センターに来館するようになったことなどがあげられる。

講座紹介記事 (西日本新聞)



初回の講座には留学生も参加

私が勧めるデートコース  
関門地域に見るイギリスの影



オーストラリアで広めた寿司文化と「実演」



「英米文学研究に燃えた我が人生」 悔いはなし



イギリス人が住んで見た北九州

講座以外の留学生との交流の機会として、大学が授業の一環として守恒市民センターを会場にして行ったうどん打ちや、定期的に大学で行われる留学生の歓送迎会や懸賞論文発表会がある。うどん打ちは夕方から夜にかけての実施だったが、講座受講生、留学生合わせて65名が参加して交流を深めた。また、歓送迎会や懸賞論文発表会の際は、「どうぞ大勢でお越しください。」とご案内を頂くので、当日時間の都合のつく受講生の方々と連れ立って出かける。イベントを通して、留学生の想いに触れることができるのがとても有意義だ。北九州市立大学との連携による講座は、今年度行った2つの講座を合わせる形で、新年度も継続して実施することに決定した。同時にクラブや講座ではない、第3の空間の共有ということで、月1回の居場所づくりを新年度から予定しているが、その中核を講座受講生に担って頂くつもりでいる。大学からも参加いただけるとのことなので、そこで講座内容の方向性等についても意見交換ができれば素晴らしいと思う。

\*\*\*\*\*

問合せ先 北九州市立守恒市民センター 館長 中村真理子

〒802-0972 北九州市小倉南区守恒二丁目8番36号

TEL/FAX : 093-963-1446 Eメール : [mt-cc@ktqc02.net](mailto:mt-cc@ktqc02.net)

\*\*\*\*\*